

## 東洋学園大学研究倫理審査規程

### (目的)

第1条 この規程は、東洋学園大学研究倫理委員会規程（以下、「委員会規程」という）第2条第1項第5号に関し、必要な事項を定める。

### (審査手続)

第2条 東洋学園大学（以下、「本学という」）の研究者で委員会規程第2条第1項第5号の審査を申請しようとする者は、法人本部企画部を経由し、研究計画等審査申請書（本規程様式1号）または動物実験計画書（動物実験実施規程様式1号）により、研究倫理委員会委員長（以下、「委員長」という）に申請する。

2 本学の学部生、大学院生が申請を行う場合は、指導教員が適切な指導を行うものとする。

### (審査方法)

第3条 研究計画及び動物実験計画の審査方法は、迅速審査及び合議審査とする。

### (迅速審査)

第4条 委員長は、研究計画及び動物実験計画審査の申請を受けたときは、研究倫理委員会委員（以下、「委員」という）の中から研究内容に応じて審査に適すると思われる若干名を指名し、審査を行うことができる。

2 前項の定めに関わらず、審査を行う上でより専門性を必要とする研究内容である場合は、委員長の判断により、委員以外の当該分野の専門家等に意見を聞くことができる。

3 委員会規程第6条第2項の定めに係らず、迅速審査の判定は、指名された委員全員の合意により決定する。

4 前項の判定が承認の場合、委員長は審査結果を委員に通知する。

### (合議審査)

第5条 前条第4項に定める判定結果の承認が得られなかった場合、委員長は、当該申請を合議審査に付し、判定を行う。

2 合議審査の委員会の議事は委員会規程第6条の定めに従う。ただし、審査を行う上でより専門性を必要とする研究内容である場合は、委員長の判断により、委員以外の当該分野の専門家等に意見を聞くことができる。

### (審査判定)

第6条 審査の判定は、次の各号に掲げる区分による。

(1) 承認（研究計画の実施は、適当と判断する場合）

(2) 条件付き承認（指摘事項に対する修正又は対応を条件として、実施を適当と判断する場合）

(3) 再申請（継続審査）

(4) 不承認（研究計画の実施は不適當と判断する場合）

### (審議結果)

第6条 委員長は、研究計画及び動物実験計画審査の審議結果について、審査結果通知書（本規程様式2号）により速やかに申請者に通知するとともに、学長および申請者の所属組織の長に報告する。

2 委員長は、研究計画審査以外の審議結果について、学長に報告または答申する。

（再審査）

第7条 審査の判定に異議のある申請者は、法人本部企画部を経由し、研究計画等審査申請書（本規程様式1号）または動物実験計画書（動物実験実施規程様式1号）に再審査申請書（本規程様式3号）を添えて提出することにより、委員会に再審査を申請することができる。

2 前項の規程に基づく再審査の申請は、審査結果通知書を受領した日から起算して2週間以内に行うものとする。

3 第1項の再審査に係る手続等については、第3条から第6条を準用する。

（事務）

第8条 この規程に関する事務は、法人本部企画部が取り扱う。

（改廃）

第9条 この規程の改廃は、研究倫理委員会及び大学運営協議会の議を経て、理事会において決定する。

附 則

この規程は、従前の「東洋学園大学研究倫理委員会規程」に定められていた倫理審査に関する規定を分離、整理したものであり、令和8年4月1日から施行する。

なお、この規程の内容は、従前の規定を基本としつつ、必要な改訂を加えたものである。

## 人を対象とする研究 事前チェックシート

この事前チェックシートは、東洋学園大学研究倫理委員会による倫理審査への申請が必要かを判断する目安となるものです。一つでも該当する項目があれば、倫理審査の対象となります。また、全て非該当の場合でも、研究遂行中に該当する項目が発生した場合は、倫理審査を受けるようにしてください。また、全て非該当でも、倫理審査を希望する場合は申請いただいても構いません。申請の際は、研究計画等審査申請書の「事前チェックシート該当番号」欄に①～⑩の該当する番号を記入してください（本チェックシートの提出は不要です）。

なお、学生が行う研究活動については、事前チェックシートを利用し、指導教員が責任を持って倫理審査を受けるか否かを判断してください。

## 学生が主体となって行う研究

対象者が学外者・学内者問わず、以下の①～⑩で一つでも「はい」に該当する場合は審査が必要。④～⑥以外の項目においては、できる限り「いいえ」になるような手段を担当教員は検討し、指導をする。一つでも「はい」があれば研究倫理委員会において審査を受ける。事前チェックシートは、全て「いいえ」の場合でも、当該学生の研究期間が終了するまで、指導教員の手元で保管すること。

なお、⑪の該当があれば、「利益相反申告書」を提出。

## 研究者が主体となって行う研究

以下の①～⑩で一つでも「はい」に該当する場合は審査が必要。⑪の該当があれば、「利益相反申告書」を提出。

## 【予想される危険性】

①研究対象者本人に何らかの身体的または精神的な危険性や不利益が生じる可能性がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
②研究対象者に対して、何らかの身体的または精神的な負担、不快、困惑、苦痛あるいは何らかの危険性等（運動や訓練、食事やその他の制限によるものを含む）を与える可能性がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
③研究対象者となることで、研究対象者個人や集団が差別を受けたり、経済状況や雇用・就業上の関係、私的な関係や財産等に損害を与える危険性がある等、研究対象者に不利益が生じる可能性がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

## 【インフォームド・コンセント】

④研究対象者の中に、障がい（知的・精神・身体・その他）のある人を対象とする	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑤研究対象者本人からインフォームド・コンセントを得ることができない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑥病院や看護施設、福祉施設等に入所している人、介護状態にある人など、他人の支援を受けながら生活する人を対象とする	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

## 【プライバシー】

⑦研究成果、調査結果の発表・公表に際して、個人が特定される可能性がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑧調査方法も含み、個人を特定しうる情報・データ、個人の本質に関わる情報・データ（思考・思想・行動等）、その他個人のプライバシーに係る情報・データ等の収集・分析を行う	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

## 【報酬等】

⑨報酬として金銭や物品を研究対象者等に支払う	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
------------------------	----------------------------------------------------------

## 【承認の必要性】

⑩研究資金提供元や発表・投稿予定の学会・学術雑誌等の要請に伴い、研究倫理委員会の承認が必要とされている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
-----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

①～⑩の一つでも該当した場合

研究計画等審査申請書をメール添付にて [kikaku-announce@tyg.jp](mailto:kikaku-announce@tyg.jp) までお送りください。

なお、学生が主体となつて行う研究の場合は、申請者名を学生名で作成し、指導教員を通してお送りください。審査結果は指導教員宛にメール添付にて送られますので、指導教員から学生に結果を通知してください。

**【利益相反】**

⑪研究対象者やその関係者との間に利益相反（研究対象者の教師・同僚、雇用主、親族、関係団体等）があり、学会や論文等で発表予定がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

⑪に該当した場合

利益相反にあたる状態があり、学会や論文等で発表する予定がある場合は「利益相反申告書」を提出してください。なお、⑪のみに該当する場合は「利益相反申告書」のみを、メール添付にて [kikaku-announce@tyg.jp](mailto:kikaku-announce@tyg.jp) までお送りください。その場合、研究計画等審査申請書の提出、審査は不要です。

「研究計画等審査申請書」および「利益相反申告書」の取得方法は、教員ポータルのリンク集にある「公的研究費について」から「研究倫理申請に関する書式等」よりダウンロードできます。ご不明な点は法人本部企画部までお問合せください。

<問い合わせ先>

法人本部企画部（内線 1731）

[kikaku-announce@tyg.jp](mailto:kikaku-announce@tyg.jp)

※学生の場合のみ記入

学生氏名	
指導教員	

(西暦) 年 月 日

東洋学園大学研究倫理委員会委員長 殿

## 利益相反申告書

学会、論文等での発表表題（仮題でも可）
所属学部
氏名

上記研究課題を遂行する上で、利益相反する対象者との関係性により、調査結果等に影響を与えることはありません。

なお、上記研究課題に関係する、過去1年間における利益相反に関する事実を以下のとおり報告いたします。

項目/基準	該当状況	該当がある場合
①研究費、助成金 一つの企業・団体等から、総額が年間200万円以上となる受託研究等の提供を受けている	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称
②特許使用料 一特許につき前年度、年間100万円以上の特許使用料（報酬）を得た	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称
③物品の受領 契約なしに年間100万円相当の物品等を受けるなどの個人的な便宜を受けている	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称
④物品等の購入 物品等を購入する場合に、金銭的利益を受けている（年間50万円相当の支払免除、ディスカウントなど）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称
⑤株式の利益 一つの企業等での株式保有・出資（株式については、公開株は5%以上、未公開株は1株以上、新株予約権は1個以上）がある	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称
⑥役員・顧問職等 一つの企業・団体等から年間100万円以上の役員報酬等を受けている	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称
⑦講演料 一つの企業・団体から年間合計50万円以上の講演料を得ている	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称
⑧原稿料 一つの企業・団体から年間合計50万円	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称

(裏面につづく)

以上の原稿料を得ている		
⑨ 役務の提供 一つの企業・団体等との間で役務（施設、設備、人材等）の提供をしている又は受けている。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	該当企業等の名称

※人を対象とする研究事前チェックシート⑨において該当し、本申告書を作成する場合、本申告書において該当状況がすべて不該当となっても、提出してください。

研究計画等審査申請書

(西暦) 年 月 日

東洋学園大学研究倫理委員会委員長 殿

申請者所属・職名

氏 名

事前チェックシート該当番号

下記について申請致します。

□欄には該当するものにレ印を記入して下さい。

1 研究計画名				
2 研究の分類	<input type="checkbox"/> ①学内研究グループのみで行う研究 <input type="checkbox"/> ②学外研究者との共同研究（申請者が主任研究者） <input type="checkbox"/> ③学外研究機関等の研究への参加 <input type="checkbox"/> ④その他  ※②～④の場合、学外の倫理委員会の承認 済 未 研究機関名（ ）			
3 研究の意義・目的				
4 研究実施場所	<input type="checkbox"/> 学内（ ） <input type="checkbox"/> 学外（ ）			
5 研究実施期間	開始	年 月 日	終了	年 月 日
6 研究従事者	氏 名	所 属	資 格	研究分担
7 研究成果の公表方法				
8 研究資金	<input type="checkbox"/> 学内 <input type="checkbox"/> 個人研究費 <input type="checkbox"/> 特別研究費 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 学外（ ） <input type="checkbox"/> 研究費を必要としない			

(裏面につづく)



研究計画等審査申請書（様式1号）記入要領

研究者が「人を対象とする研究」を行おうとする場合、本様式を所属組織の長を経由し、研究倫理委員会へ提出して下さい。（東洋学園大学研究倫理委員会規程第13条関係）  
以下の点に留意の上、記入して下さい。

1 研究計画名	決定している題目等を記して下さい。
2 研究の分類	該当するものにチェックを記して下さい。 ②～④に該当する場合は、学外の倫理委員会の承認を得ているか否かについて記入して下さい（いずれかを○で囲む）。また、承認を得ている場合は、その研究機関名を記して下さい。
3 研究の意義・目的	研究の意義・目的について簡便に記して下さい。
4 研究実施場所	該当するものにレ印を記入し、（ ）内に具体的な場所を記して下さい。 学内の場合は、キャンパス名、建物名、部屋番号等、できるだけ具体的に記して下さい。学外の場合も具体的に記し、併せて当該場所の責任者名、連絡先を記して下さい。
5 研究実施期間	研究の開始日、終了日を記して下さい。
6 研究従事者	申請者も含めて記して下さい。 研究従事者が学生の場合は、資格欄に学年を記して下さい。 本欄で不足の場合は別紙を添付して下さい。
7 研究成果の公表方法	研究論文の掲載誌等を記して下さい。
8 研究資金	該当するものにチェックを記して下さい。 学外の公的研究費等の場合は、その研究資金名と資金配分団体名を記して下さい。（文部科学省科学研究費 等）
9 データ等の項目	収集予定のデータ等の項目を具体的に記して下さい。 データ等の収集に使用する質問紙等がある場合は、添付して下さい。
10 データ等の入手方法	外部の機関から匿名化されたデータ等を入手する場合は、その外部機関名、研究者が独自に収集する場合は、その入手方法を具体的に記して下さい。
11 データ等の保管	研究期間中及び研究終了後の保管場所、方法、期間（ <b>研究倫理規程に従い、事後の検証等ができるよう原則10年間保存</b> ）について記して下さい。なお、保管期間終了後のデータ等の破棄方法についても、「方法欄」に記して下さい。 また、公的研究費による研究の場合、研究データマネジメントプラン（DMP）を活用し、研究データの管理・利活用促進が求められています。研究者はDMPの作成、更新をお願いします。
12 対象者の属性	人数、年齢層を記した上で、該当するものにレ印を記して下さい。 対象者の協力の同意を得たことを証する「研究参加同意書（様式1-2）」を添付して下さい。また、同意を得るために使用した説明文書も添付して下さい。
13 音声・画像等の記録	音声・画像等の記録（ビデオ撮影等も含みます）の有無について、該当するものにチェックを記して下さい。有の場合は（ ）内に記録内容を具体的に記して下さい。
14 対象者に与える危険や不利益等の可能性	対象者に与える危険や不利益等の可能性（学生の場合は、参加の有無が学業成績や単位取得に影響を与えないこと等）について、該当するものにチェックを記して下さい。有の場合は内容及びそれを回避する方法、対応等について具体的に記して下さい。
15 個人情報保護	収集する個人情報の項目、匿名化の有無等について具体的に記して下さい。
16 謝礼	該当するものにチェックを記して下さい。謝礼を支払う場合は（ ）内にその内容を記して下さい。
17 特記事項	その他、当該研究に関して留意する点等を記して下さい。
18 添付書類	該当するものにレ印を記して下さい。 研究の概要を説明するもの、データ収集の方法を説明する補足資料等、その他に該当するものを添付する場合には、（ ）内にその添付書類名を記して下さい。

## 研究参加同意書

私は、下記研究について、その内容を十分に説明を受け、研究の目的と方法、私が協力して行う以下の研究参加事項とその危険性について理解し、研究参加に同意します。

〔研究題目〕

〔説明を受け理解した項目〕 ※□の中に同意者ご自身でチェックを記して下さい。

- 1 研究題目（研究責任者、研究体制）
- 2 研究参加の任意性と撤回の自由
- 3 研究の目的・意義
- 4 研究の方法
- 5 研究の場所・期間
- 6 研究に関する資料の開示
- 7 研究参加者にもたらされる利益及び不利益
- 8 個人情報の取扱
- 9 研究成果の公表
- 10 研究終了後の方針（データ等の取扱方針）
- 11 研究のための費用及び謝礼
- 12 問い合わせ先

年 月 日

参加者署名	
-------	--

代諾者署名		続柄	
-------	--	----	--

※参加者が18歳未満の場合、代諾者による同意が必要です。

本研究に関する説明を行い、自由意思による同意が得られたことを確認します。

説明者署名	
-------	--

様式2号

No.

審 査 結 果 通 知 書

(西暦) 年 月 日

申請者

殿

東洋学園大学研究倫理委員会  
委員長

年 月 日付で申請のあった研究計画等審査申請書について、下記のとおり判定しましたので通知します。

記

- 1 研究計画名
- 2 申請者名
- 3 判定結果
- 4 理由
- 5 その他（申請者への要望等）

様式3号

再 審 査 申 請 書

(西暦) 年 月 日

東洋学園大学研究倫理委員会委員長 殿

申請者所属・職名

氏 名

貴倫理委員会が、 年 月 日付で通知された判定結果に異議がありますので、東洋学園大学研究倫理委員会規程第18条の規程に基づき、再審査を申請します。

記

1 研究計画名	
2 異議の内容	
3 異議の根拠となる資料等	